

埼玉県立がんセンター医療ガス配管設備保守業務委託特記仕様書

この特記仕様書は、地方独立行政法人埼玉立病院機構埼玉県立がんセンター（以下「発注者」という。）が委託する業務（以下「業務委託」という。）の適正を期するため業務委託に必要な詳細な業務内容について定めるもののほか、受注者は業務委託共通仕様書第2条により、この特記仕様書の定めるところにより業務を履行しなければならない。

1 業務の場所

埼玉県北足立郡伊奈町小室780番地

地方独立行政法人埼玉立病院機構埼玉県立がんセンター

2 対象設備及び器具

(1) 外観点検(3ヵ月点検, 6ヵ月点検)及び機能点検(外観点検, 12ヵ月点検)

点検対象設備概要

・自動切替機（予備酸素×2、笑気、窒素、炭酸ガス）	5台
・ボンベ連結導管	76本
・遠隔警報盤	1面
・吸引ポンプ	2台
・レシーバータンク（1,500リットル）	2基
・自動給水装置（電磁弁式）	2組
・吸引フィルター	2基
・空気圧縮機	2台
・空気槽	1基
・クーラー付エアドライヤー	2台
・圧縮フィルター	2基
・除菌フィルター	2基
・電源操作盤（壁掛式自動交互追従）	1面
・電源操作盤（自立型）	1面
・圧力監視盤（6ガス用）	1面
・圧力監視盤（3ガス用）	2面
・空気減圧装置	1面
・壁型アウトレット	1, 731個
・天吊ホース型アウトレット	23本
・窒素用調整器付アウトレット	25台
・余剰麻酔ガス排出用アウトレット	15個
・炭酸ガスアウトレット	7個
・シーリングペンダント用アウトレット	190個
・シャットオフバルブ	54個

(2) 液体酸素タンク保守点検

機種	CE-7000型	1基
----	----------	----

3 定期点検

受注者は、外観点検年3回、機能点検年1回（4月）及び液体酸素タンク保守点検年1回（4月）を実施するため、保守技術員を現場に派遣し、別紙「保守点検標準作業書」により対象医療配管設備の点検を実施するものとする。

4 定期点検以外の措置

受注者は、定期点検のほか不時の故障等により、発注者から要請があったときは、ただちに保守技術員を派遣し、監督員の指示に従い必要な点検、修繕等を行うものとする。

5 実施計画及び実施報告

受注者は、業務に関する実施計画を策定したときは、書面（発注者の認めた様式）により発注者に通知し、実施したときは、書面（発注者の認めた様式）により発注者に状況を報告する。

6 臨機の措置

発注者は、業務を実施する上で必要と認められる場合、受注者と協議の上、実施計画書の作業繰り上げ又は延長等所要の措置を求めることができる。

7 報 告

受注者は、実施計画書に基づいて業務が終了したときは、すみやかに報告書（発注者の認めた様式）を発注者に提出するものとする。

8 業務従事者名簿

受注者は、業務従事者名簿を発注者に提出し、承認を受けるものとする。

点検者は必要な資格及び経験を有していることを示すものとする。

点検時には、「医療ガス保安管理技術者講習会」及び『医療機器修理業責任技術者専門講習会』等を受講している者を従事させること。

また、点検者の変更があった場合も同様とする。

9 負担区分

業務に必要とする消耗品及び用紙類は、受注者の負担とする。

ただし、発注者の責任による破損部品及び機能点検対象機器以外の修理は除外する。

10 定めのない事項

ここに定めのない事項等及び記載事項の解釈等に疑義が生じた場合は、発注者、受注者協議の上、決定するものとし、受注者は、現場の状況等に応じ、定めのない事項についても、誠意をもってこれを遂行するものとする。